

真のワーク・ライフ・バランス推進計画 (H24.3 (H29.3改定))

人々の多様な働き方や生き方が受け入れられ、人間らしくいきいきと働き、家庭・地域で心豊かに生活できる『真のワーク・ライフ・バランスを実現するまち・京都』の実現のための計画



「まち・ひと・しごと・こころ京都創生」総合戦略 (H27.9 (R2.3改訂))

「人口減少社会への挑戦，東京一極集中の是正」という課題に対応する“総合的・横断的分野別計画”

基本理念

- 人の「数」の追求だけではなく、一人一人が笑顔で、安心して生き、暮らせる社会を追求する
- 京都ならではの「こころの創生」を重視する
- 国内外から訪れる「交流人口」も、「京都にとって大切なひと」として重視する
- 全国の自治体と更に連携し、我が国全体の地方創生の推進を志す
- 市民等と行政が共に「自分ごと」、「みんなごと」として、人口減少問題に丸となって挑む新たな関係を築く

SDGs (H27.9)

国連の「17の持続可能な開発目標」



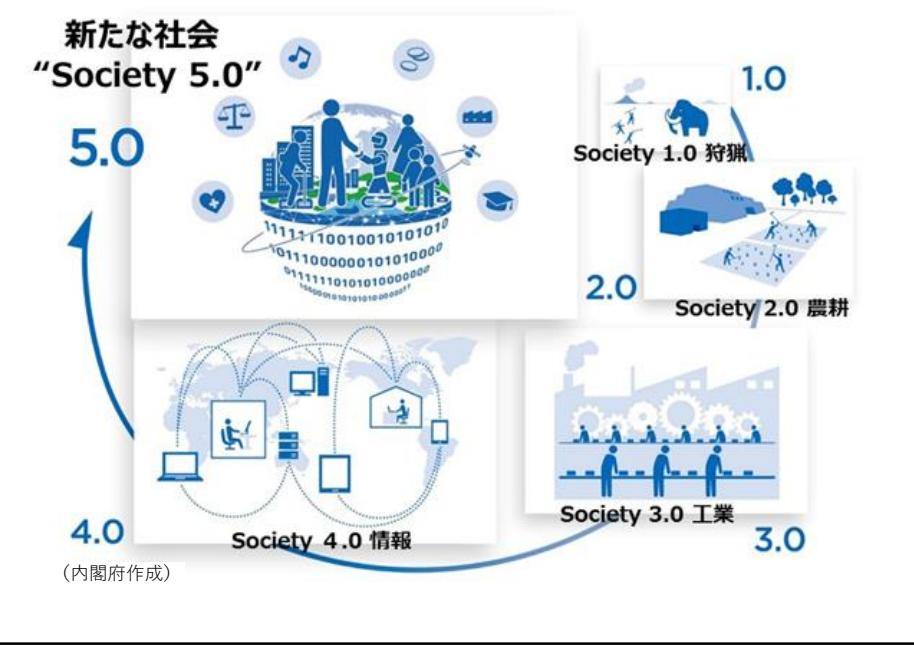
持続可能で、格差のない、経済・社会・環境の調和のとれた発展に向けて、国際社会全体が2030年までに達成を目指す共通目標

特に都市計画に関連する目標

- 6 安全な水とトイレを世界中に**
すべての人々の水と衛生の利用可能性と維持可能な管理を確保する
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに**
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 8 働きがいも経済成長も**
包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう**
強靱（レジリエント）なインフラ構築，包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
- 11 住み続けられるまちづくりを**
包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
- 13 気候変動に具体的な対策を**
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 15 陸の豊かさも守ろう**
陸域生態系の保護，回復，持続可能な利用の推進，持続可能な森林の経営，砂漠化への対処，ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

Society 5.0 (超スマート社会) (H28.1)

必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズにきめ細やかに対応でき、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といった様々な違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会



京都市レジリエンス戦略 (H31.3)

自然災害や人口減少をはじめとする様々な危機に対し、粘り強くしなやかに対応し、将来にわたって人々がいきいきと暮らせる、魅力と活気に満ちた都市（＝レジリエント・シティ）の実現に向けた取組指針

